

平成24年5月25日

京都府知事
山田啓二様

日本茶・宇治茶の世界文化遺産登録可能性検討委員会
委員長 金田 章裕

日本茶・宇治茶の世界文化遺産登録可能性検討委員会の提案について

日本茶・宇治茶の世界文化遺産登録可能性検討委員会（以下「委員会」という。）では、昨年7月の第1回委員会において調査研究部会を設置し検討を進めてきたところですが、このたび、同部会で作成された提案書素案に基づき、日本茶・宇治茶の世界文化遺産登録の可能性について検討を行いました。

その結果、本委員会といたしましては、現時点での提案のコンセプトを別添のとおり取りまとめるとともに、今後の進め方について下記のとおりとすることを提案いたします。

記

1 日本茶・宇治茶の世界文化遺産登録について

- ・次の3つの選択肢を視野に世界文化遺産の登録を目指す。
 - ① 世界文化遺産として提案
 - ② 世界文化遺産と無形文化遺産（茶道）が融合した新しい世界遺産の概念を提案
 - ③ 「古都京都の文化財」として追加提案
- ・提案のコンセプトについては、世界文化遺産としての価値（顕著な普遍的価値：真実性、完全性）をより鮮明に表すため、世界の中の位置づけ、日本の中の位置づけについて、ブラッシュアップを図る。
- ・構成資産については、引き続き検討を進める。

2 提案のコンセプト

日本茶文化の代表的資産群～宇治茶と喫茶文化の発祥と継承の地～

京都・宇治・山城は、日本の茶文化の展開に応じた茶室・茶席や茶畑、茶問屋などの代表例が優良な状態で揃って残っている稀有な地域であり、日本の茶文化を生み、支え、育んできた「日本の喫茶文化の発祥と継承の地」である。

3 委員会の名称について

名称を「日本茶・宇治茶の世界文化遺産登録検討委員会」又は「日本茶・宇治茶の世界文化遺産登録推進委員会」と変更する。

(可能性検討委員会等の開催状況)

平成23年

7月22日	可能性検討委員会(第1回)
9月30日	可能性検討委員会調査研究部会(第1回)
10月18日	建築・庭園等チーム会議
10月24日	生産・加工・流通チーム会議
11月1日	建築・庭園等チーム会議
11月8日	建築・庭園等チーム会議
11月11日	山城管内現地調査
11月21日	可能性検討委員会調査研究部会(第2回)

平成24年

1月10日	歴史・文化的景観チーム会議・チームリーダー会議
2月3日	可能性検討委員会調査研究部会(第3回)
3月23日	可能性検討委員会(第2回)

(可能性検討委員会委員)

委員長	金田 章裕	人間文化研究機構機構長、京都大学名誉教授
	岡田 保良	国士舘大学教授
	小西 茂毅	静岡大学名誉教授
	下岡 久五郎	京都府茶業会議所専務理事
	杉本 貞雄	京都府茶業会議所会頭
	関根 秀治	平安女学院大学客員教授、裏千家事務総長
	日向 進	京都美術工芸大学教授
	村井 康彦	滋賀県立大学名誉教授
	吉村 亨	京都学園大学教授
	太田 昇	京都府副知事
	井上 元	京都府山城広域振興局長
	塚本 稔	京都市副市長
	久保田 勇	宇治市長
	橋本 昭男	城陽市長
	堀口 文昭	八幡市長
	石井 明三	京田辺市長
	河井 規子	木津川市長
	江下 傳明	大山崎町長
	奥田 光治	宇治田原町長
	松本 勇	笠置町長
	堀 忠雄	和束町長
	手仲 圓容	南山城村長

(調査研究部会員)

歴史・文化的景観チーム	吉村 亨	京都学園大学教授
	上杉 和央	京都府立大学准教授
	鶴島 三壽	関西外国語大学准教授
	谷阪 智佳子	新鳥取県史編さん調査委員
	谷端 昭夫	裏千家学園講師
	坪内 淳仁	宇治市歴史資料館主任
建築・庭園等チーム	橋本 素子	京都光華女子大学非常勤講師
	矢ヶ崎 善太郎	京都工芸繊維大学准教授
	上杉 和央	京都府立大学准教授
	鶴島 三壽	関西外国語大学准教授
生産・加工・流通チーム	日向 進	京都美術工芸大学教授
	福田 敏朗	前 京都府立山城郷土資料館資料課長
	寺本 益英	関西学院大学教授
	林屋 和男	日本茶インストラクター協会京都府支部長
	藤井 孝夫	京都府生物資源研究センター所長